

## 荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平中学校、川島こどもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

## 野外授業もあった、3回目の出前講座

各学校で3回目の出前講座がありました。今回、出丸小学校は野外授業！いつもと違った雰囲気を楽しめたのでしょうか？

「三ツ又」ってなんだろう？ 安孫子 繁子さん、大室 春雄さん  
三ツ又沼ビオトープは、昔、荒川と入間川が合流する場所で、上から見ると、「Y」の形をしていました。昔の人は、このようなYの形になることを「三ツ又」と言っていたんですよ。



目の前が三ツ又沼だよ

あっちに荒川があるんだよ

出丸小学校 (5年生)

においをかいでごらん 甘浦 章さん

茶色くカサカサになっているこの植物、手で少しもんで、においをかいでごらん。レモンの良いにおいがするでしょう？これは、レモンエゴマっていう植物なんだよ。

どんなにおいがする？



レモンエゴマ

出丸小学校 (6年生)

まいどしゅし 埋土種子ってなんだろう？

菅間 宏子さん

植物は種子を作って子孫を残しますが、種子の中には、芽を出さず土の中で眠るものがあります。これを埋土種子といいます。土を掘り返したりすると、この埋土種子が環境の変化に刺激を受けて芽を出したりします。

自分にあう環境になるまで種子は、眠っています



太平中学校 (科学部)

## 出丸小の子どもたちによる管理作業

出丸小学校の子どもたちが三ツ又沼ビオトープで、地域の自然を守るためにセイタカアワダチソウやセイヨウカラシナ (菜の花) などの外来植物の抜き取り作業を行いました。



たくさん抜くぞー



## 環境サポーターによる 管理作業

### 土のうでせき止めて湿地環境の維持を パート2

三ツ又沼ビオトープでは、湿地環境を守るために、土を袋につめた土のうを積み上げて、池から流れ出る水をせき止めています。しかし、初夏に積み上げた土のうが一部くずれてしまいました。そこで、11月14日に環境サポーターの皆さんが40個に及ぶ土のうをつくり、もう一度、土のうを積んで水がたまるようにしました。



皆で力を合わせて…

# 三ツ又沼ビオトープで出会える生きものたち

要注意外来生物：外国から持ち込まれ、生態系に悪い影響を及ぼす恐れのある生きもののこと（環境省指定）

## オオオナモミ

要注意外来生物



【時期】8～11月

もともとは北アメリカの自然に生える植物。トゲは、マジックテープのモデルになった。適応能力が強く、地域に本来生える植物の育つ場所を奪ってしまうことが心配されている。

## カラスウリ



【時期】9～12月（実の時期）

日本にもともと生えるツル植物。夏に白いレースのような花を咲かせ、実は秋から冬にかけて鮮やかなオレンジに染まり、目立つ。実の中には、カマキリの頭のような形の種が入っている。

## オオカマキリ（卵のう）



【時期】10～4月（卵のうが見られる時期）

冬の間、幼虫たちは卵の中で過ごし、春になるといっせいに出てくる。肉食性なので、三ツ又沼ビオトープのように食べ物となる昆虫がたくさんいないと生きていけない。

## 野遊び教室 くっつけ！ひっつきむし

三ツ又沼ビオトープを歩いてみると、気づかないうちにくっついている「ひっつきむし」。そんなひっつきむしを誰が一番集められるか競争してみよう。

### 用意するもの

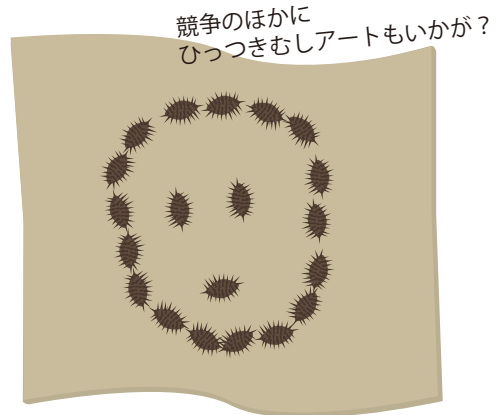
フェルトなどひっつきむしが付きやすい布

### 遊んでみよう！

1. 制限時間を決める
2. いっせいにスタートし、ひっつきむし（オオオナモミの実）を探そう
3. 見つけたひっつきむしをどんどん布にくっつけていこう
4. 制限時間内に一番多くひっつきむしを集められた人の勝ち！

### 注意

オオオナモミは、外来種なので、遊び終わったらその場に放り出さず、ゴミ袋に入れて捨ててください。そうすることで、オオオナモミの実がへり、三ツ又沼ビオトープの自然が守られます。



## 【三ツ又沼ビオトープへ行こう！】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。ここでは、荒川の自然が大好きな人たちと国土交通省と一緒に、自然をより良くする作業や「荒川の自然って大切だね！」と、人々に伝える活動をしています。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

## 【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています（荒川上流河川事務所にて登録）。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！

